

非常勤サービス提供責任者配置事業所の実態に関するアンケートについて

民間介護事業推進委員会
馬袋 秀男

I. アンケート調査の概要

1. 目的

平成21年度4月からの訪問介護サービスのサービス提供責任者に係る配置基準緩和の施行後において、非常勤のサービス提供責任者を配置した訪問介護事業所の実態把握を行うとともに、サービス提供責任者の勤務形態（常勤・非常勤）と責務遂行との関係ならびに業務遂行にかかわるITの活用状況活用意向等を確認することを目的として、アンケートを実施した。

2. アンケート調査の内容

- (1) 調査対象 ※一般社団法人日本在宅介護協会を通じ、協会加盟法人へ調査を依頼
全数（配布数：1,068 回収数：968 回収率：90.6%）
 - ①非常勤サービス提供責任者として就業している方
（配布数：234 回収数：218 回収率：93.1%）
 - ②非常勤サービス提供責任者を配置している訪問介護事業所の管理者の方
（配布数：278 回収数：262 回収率：94.2%）
 - ③非常勤サービス提供責任者を配置している訪問介護事業所と関わりのある居宅介護支援事業所の介護支援専門員の方
（配布数：231 回収数：178 回収率：77.0%）
 - ④常勤サービス提供責任者のみを配置している訪問介護事業所の管理者の方
（配布数：325 回収数：310 回収率：95.3%）
- (2) 配布方法：メールにより配布及び回収
- (3) 実施期間：平成23年9月上旬から9月中旬

3. 調査結果の概要

アンケート調査の結果をみると、非常勤サービス提供責任者としての働き方があることにより、「非常勤ヘルパーから非常勤サービス提供責任者へのキャリアアップ」や「常勤では働くことが出来ない優秀な人材の雇用継続」が可能となっており、非常勤サービス提供責任者を配置している事業所の管理者や連携する居宅介護支援事業所（介護支援専門員）はサービス提供における課題は少ないと感じているといった傾向が見られた。

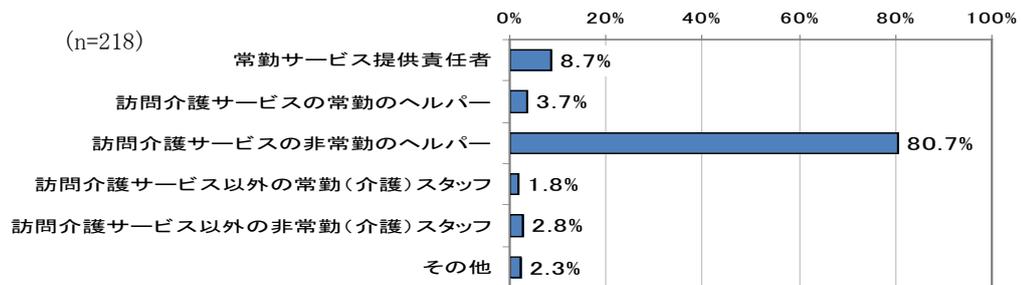
また、現状でも、シフト調整やスケジュール調整をパソコンで行っている現状もあり、サービス提供責任者の業務におけるIT活用は可能であると考えられる。

II. アンケート調査結果（抜粋）

1. 非常勤サービス提供責任者について

アンケート対象：非常勤サービス提供責任者として就業している方

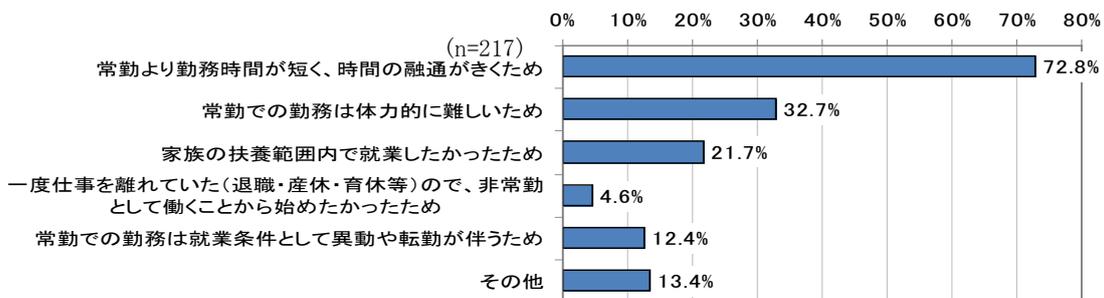
非常勤のサービス提供責任者になる前の職務については、「訪問介護サービスの非常勤ヘルパー」が80.7%となっており、「非常勤サービス提供責任者」は非常勤ヘルパーからのキャリアアップに繋がっていると考えられる。



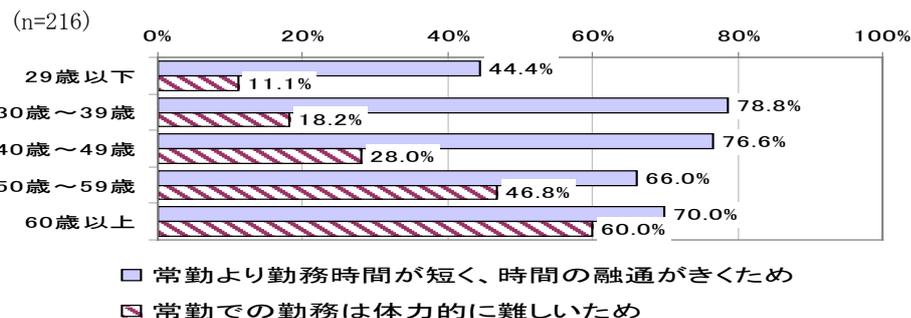
(1) 非常勤としての就業理由（複数回答可）

非常勤としての就業理由については、「常勤より勤務時間が短く、時間の融通がきくため」が最も多く、「常勤での勤務は体力的に難しいため」が続いている。また、年齢別にみると、30代・40代の約8割が「常勤より勤務時間が短く、時間の融通がきくため」を、50代・60代の約半数が「常勤での勤務は体力的に難しいため」を選択している。

この傾向から、子育て世代の30代～40代は、時間の融通が利くことから非常勤サービス提供責任者として就業しており、50代～60代は、常勤での勤務は体力的に難しいが、非常勤サービス提供責任者という働き方があることで、継続して就業出来ていると考えられる。

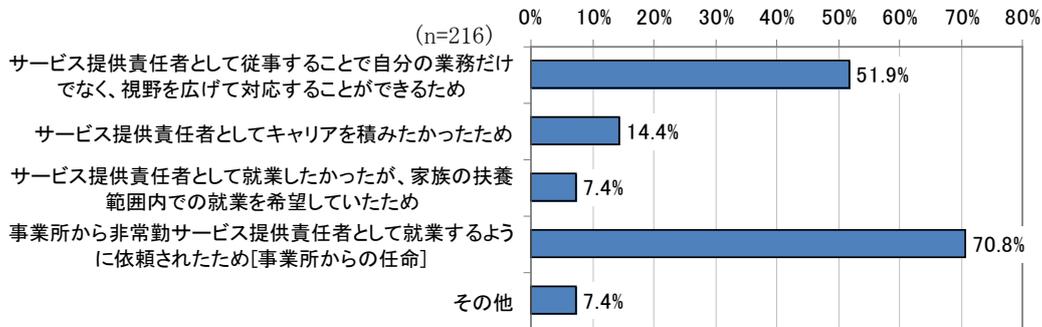


【年齢別】（上表の上位2項目のみ抽出）



(2) 非常勤のサービス提供責任者としての就業理由（複数回答可）

非常勤のサービス提供責任者としての就業理由については、「事業所から非常勤サービス提供責任者として就業するように依頼されたため[事業所からの任命]」が最も多い一方で、約半数が非常勤サービス提供責任者として視野を広げて対応することを就業理由としてあげており、非常勤サービス提供責任者として働くことで、自身のキャリアアップを図っている傾向が見られる。

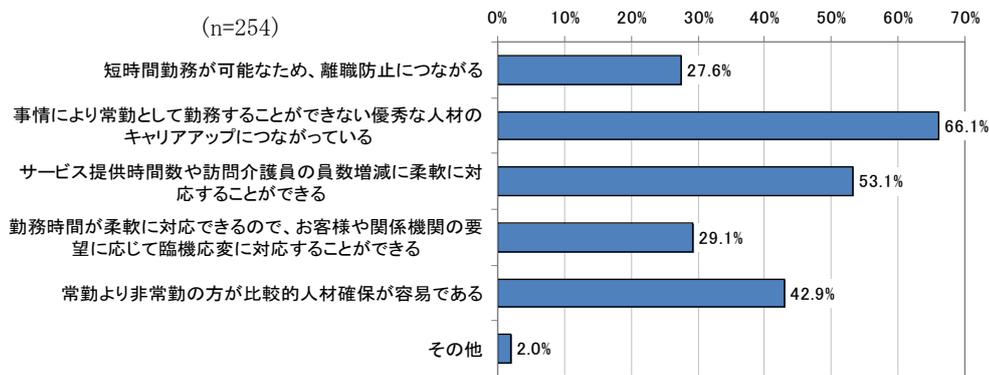


2. 非常勤サービス提供責任者配置の利点及び課題点

アンケート対象：非常勤サービス提供責任者を配置している訪問介護事業所の管理者の方

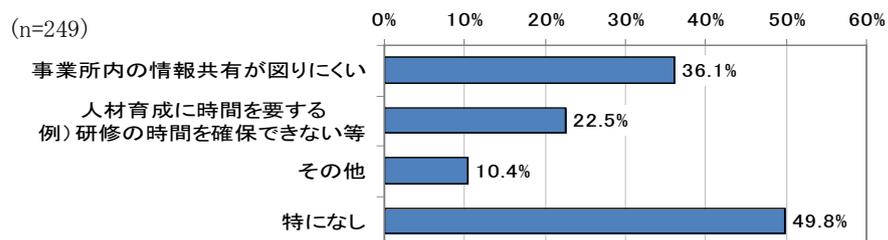
(1) 利点（複数回答可）

非常勤サービス提供責任者配置の利点についてみると、「事情により常勤として勤務することができない優秀な人材のキャリアアップにつながっている」が最も多く、「サービス提供時間数や訪問介護員の員数増減に柔軟に対応することができる」、「常勤より非常勤の方が比較的人材確保が容易である」が続いている。



(2) 課題点（複数回答可）

非常勤サービス提供責任者配置の課題点については、「特になし」が最も多く、「事業所内の情報共有が図りにくい」が続いている。



3. 居宅介護支援事業所との連携

アンケート対象：非常勤サービス提供責任者を配置している訪問介護事業所と関わりのある介護支援専門員の方

居宅介護支援事業所との連携や日々のサービス提供状況については、非常勤サービス提供責任者を配置している訪問介護事業所であっても、介護支援専門員はサービス提供上において支障を感じていない傾向が見られた。

4. 非常勤サービス提供責任者配置を検討する条件（記述式）

アンケート対象：常勤サービス提供責任者のみを配置している訪問介護事業所の管理者の方

非常勤サービス提供責任者配置を検討する条件については、「現時点では配置を検討していない」「常勤のサービス提供責任者が確保できなくなった際に検討する」「現在、常勤（サービス提供責任者）として働いている方が何らかの家庭の事情で常勤としての勤務が難しくなった場合に検討する」「サービス提供責任者にしたいと思える人が非常勤しか出来ない状況であれば考える」「優秀な非常勤ヘルパーがいればサービス提供責任者をすすめる」等の意見があった。

5. ITの活用について

アンケート対象：非常勤サービス提供責任者として就業している方

- ・ 業務の中でのIT使用状況（複数回答可）

業務の中でのIT使用状況については、「シフト作成やスケジュールの調整はパソコンを活用して行っている」が最も多く、「サービス提供記録は電子データで共有している」が続いており、介護帳票においては紙媒体での保管を基本とし、IT活用による積極的な共有が図られていない傾向にある。

